

令和 7 年度学校給食運営審議会 視察報告書

1. 目的

審議会委員の学校給食事業運営の理解促進のため

2. 視察先

小平市立学校給食センター 小平市小川東町 5-17-10

3. 日時

令和 7 年 12 月 17 日 (水) 午前 10 時 30 分から 12 時 40 分まで

4. 概略

到着後施設見学を行い、調理状況を見ながら各種説明を受ける。その後、会議室へ移動し、栄養教諭資格を持つ栄養士から、小平市の学校給食や施設運営について講義を受ける。終了後、試食を実施した。

5. 参加者

【委員】藤村副会長、上野委員、田中委員、市田委員、宿利委員、中島委員、笠井委員、二俣委員、栗原委員、木曾委員、堀端委員（11 名）

【事務局】伊形、久保、長野、横山

6. 参考点等

- ・地場野菜の活用について、年 1 回値合わせ会を行うなど活用するためのシステム作りがしっかりと構築されていた。
- ・栄養教諭がいることが大きいと思われるが、年間計画を立てて各学校へ万遍なく回り、食育授業を行っている。
- ・京都の老舗から納入するなど出汁にこだわりがある。
- ・カラー印刷物の発色が良く見やすい。
- ・国立市とほぼ同規模施設であるのに展示ホールや見学場所が狭い印象だった。
- ・見学ホールから見える煮炊き調理室は、国立市よりも距離が近く、迫力を感じることができた。
- ・試食で食べたグラタンの塩味が濃かった。
- ・国立市の給食に比べ、今回小平市での試食献立にはメリハリがあると感じた。メイン料理がはっきりしていて「今日は何を食べたのか」が明確だった印象。一点集中のメニューだと子供達の給食のイメージが変わるだろうなという印

象を受けた。

- 建物全体としては国立市の方が名前の通りウェルカムな雰囲気があり、給食ステーションで学ぶことが食育につながると感じる。小平市の建物はこじんまりした様にしたが、話してくれた方が、やはり普段から伝えることに慣れていてとてもわかりやすく楽しかった。地域の方や子供達の意見を取り入れやすいのだろうと感じることが多かった。